

ブリュノ・クレマン Bruno Clément 講演会 avril 2016

(日仏会館 2016 年度人文社会系セミナー招聘事業)



ブリュノ・クレマン Bruno Clément

パリ第 8 大学教授。フランス大学学院会員。パリ・リュミエール大学共同体学術委員長。元国際哲学コレッジ院長 (2004 年-2007 年)。

処女作『特性なき作品——サミュエル・ベケットの修辞学』(Seuil, 1994) から

出発した研究により、サミュエル・ベケット研究の第一人者であると同時に、従来の修辞学を問い直しつつ新たな仕方で活用し、文学と哲学、小説と文学理論といった領域の境界を越え、幅広い作品を対象としたテキスト分析を行っている。

著書に、『読者とそのモデル——ヴォルテール、パスカル、ユーゴー、シェイクスピア、サルトル、フローベール』(PUF, 1999)、『注釈の発明——アウグスティヌス、ジャック・デリダ』(PUF, 2000)、『方法の物語』(Seuil, 2005) など。テキスト読解を通してプロソポペイア (活喩法) の重要性を示すと共に比喩形象 (figure) とは何かを問う最新著『垂直の声』(2013) の日本語訳が 4 月に水声社より刊行予定。

4 月 18 日 (月) 18:30-20:30 日仏会館 1 階ホール 講演

La voix des sans voix – prosopopée, figure entre la littérature et la philosophie

声なき者たちの声——プロソポペイア、文学と哲学の間の比喩形象

(司会：澤田直 ディスカッサント：郷原佳以)

http://www.mfj.gr.jp/agenda/2016/04/18/20160418_bruno_clement/index_ja.php

http://www.mfj.gr.jp/agenda/2016/04/18/20160418_bruno_clement/index.php

4 月 19 日 (火) 18:30-20:30 日仏会館 5 階 501 会議室 セミナー

Les philosophes et la question du style

哲学者と文体の問題

<http://www.mfjtokyo.or.jp/ja/events/details/669.html#>

<http://www.mfjtokyo.or.jp/fr/events/details/669.html>

4 月 21 日 (木) 17:00-19:00 早稲田大学戸山キャンパス 33 号館第一会議室 講演

L'amour versus concept (sur la relation amoureuse qui a lié Hannah Arendt et Martin Heidegger)

愛 vs 概念 (ハンナ・アーレントとマルティン・ハイデガーの恋愛関係について)

(司会：千葉文夫 通訳：梶田裕)

4 月 22 日 (金) 17:00-19:00 東京大学駒場キャンパス 18 号館 4 階コラボレーションルーム 3 セミナー

Bergson, prix Nobel de la littérature

ノーベル文学賞受賞者、ベルクソン

*4 月 18 日 (月) と 19 日 (火) の日仏会館での講演・セミナーは日仏会館のサイトで事前予約が必要です。

*講演・セミナーはフランス語で行われます。4 月 18 日 (月) の講演は同時通訳があり、21 日 (木) の講演は逐次通訳があります。他の二つのセミナーは基本的には通訳なしの予定ですが、質問は日本語でも結構です。

問い合わせ：郷原佳以 (gohara@boz.c.u-tokyo.ac.jp)